

□ 要請番号 (JL47520A08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
チュニジア	G130 柔道		個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青少年・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

チュニジア柔道連盟ガベス支部

3) 任地 (ガベス県ガベス市) JICA事務所の所在地 (チュニス)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

チュニジア柔道連盟は1965年、青少年・スポーツ省管轄下に創立され、国際大会への選手派遣、国内大会、強化合宿、コーチ研修、審判研修、昇段審査の実施及び柔道の振興、発展に努めている。現在、全国に175の柔道クラブがあり、主要6都市に地方支部がある。

これまでJICAボランティアの派遣実績は7名。国際交流基金、日本柔道連盟等を通じて、数多くの日本人柔道家が、ナショナルチーム、地方支部の選手強化、指導技術の向上、柔道の振興に協力してきた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国において柔道は1947年より始まり、サッカー、ハンドボールに次ぎ人気のあるスポーツである。ナショナルチームは、近年多くの強化選手を国際大会に輩出しており、アフリカにおいては最上位のレベルにある。しかし、競技レベルでの指導技術が不足しており、更なる向上を目指している。ガベス県では、以前は高いレベルを維持する強豪地域だったが、最近は競技人数の低下もありレベルが低下している。現在、チュニジア柔道連盟では、同地区の柔道クラブを1つにまとめた大きなクラブ(エリート養成を主眼)を作ろうとしているため、同クラブの運営・組織化支援も求められている。また豊富な競技経験に基づく技術指導はもとより、日本人の精神面での育成を求めている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

チュニジア柔道連盟の地方支部において、以下の活動を行う。

- ・「心技体」を体現する柔道家を育成する。
- ・同僚コーチと共に、ナショナルチーム(強化選手)の候補となるシニアレベル(青帯～黒帯、12-18歳、60人)の選手を中心に育成、強化に取り組む。
- ・同僚コーチ、選手に対し、基本技、連携技などを模範指導し、選手の競技技術の向上、およびコーチの指導技術の向上を図る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道畳等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:40代男性(体育教師資格あり)、5人のトレーナー(現在組織化中)

活動対象者:約100名。同地区には複数の異なるレベルの柔道クラブもあり、いずれも海外協力隊による指導を希望している。

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：配属先の要望に基づく

[経験]：（競技経験） 備考：3段以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（5～45℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】